

佐原五中だより

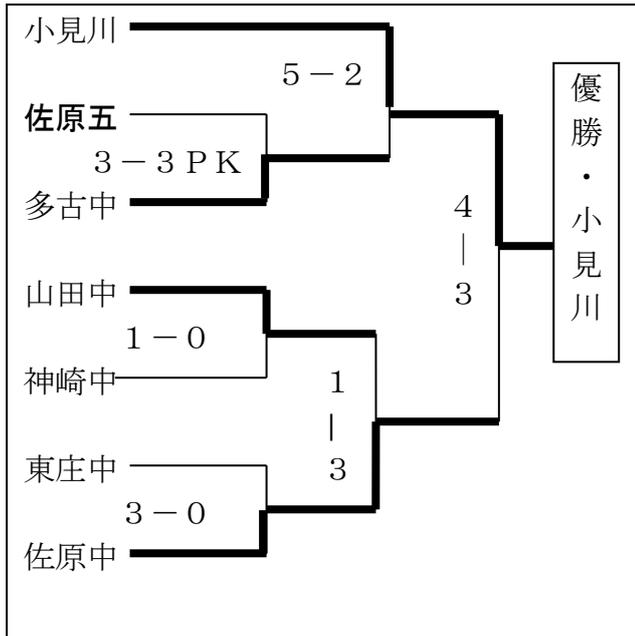
3年生最後の県総体予選が終了しました。その様子を2回に分けてお知らせします。まずは第1弾、サッカー、卓球、野球、バレー、バスケット女子の様子から！（バスケット男子、剣道、吹奏楽等はデータがそろいしだいお知らせします）

激闘の県総体予選・終わる！3年生・2年半の部活生活にピリオド

サッカー部 7/16(土)、17(日)、21(木)

【1回戦】佐原五 $\begin{matrix} 3-0 \\ 0-3 \end{matrix}$ 多古中

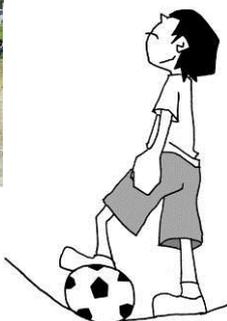
大会規定によりPK戦（●2-4）



巧みなボールさばきでチャンスを出した馬場選手のドリブル突破



ゴール前の激しい攻防
お互い、体を張ってボールを奪い合います。



緊張する初戦だけに、どちらも先制点がほしいところ。応援に駆けつけたバレー部の大声援に後押しされ、前半わずか3分すぎ、本校は、相手キーパーのクリアボールにしつこくからんでカットした片野大選手がそのまま持ち込んで先制ゴール。一気に押し寄せムードが高まります。

その後もボールを支配して優位に試合を進める本校は、鈴木拓選手が坂下選手からのスループスを見事にゴールに結びつけ2-0。

さらに坂下選手が、相手キーパーのクリアミスを見逃さず、ボールを奪ってシュート。3点目のゴールを決めて完全に主導権を握ります。

前半を3-0と理想的な展開でリードして折り返した本校ですが、ハーフタイム後、けが人続出で暗雲が漂いはじめます。2点目を決めた鈴木拓選手が負傷退場すると、後半早々に鈴木彪選手も負傷退場。これまで相手の攻撃を早いつぶしで押さえていた鈴木彪選手が抜け、さらに疲労も加わってか、こちらもけがに耐えて出場する長身の多田選手を中心とした鉄壁の守備陣も徐々に相手の攻撃に突破され始め、よもやの3失点で同点に追いつかれます。突き放したい本校も、ポイントゲッター馬場選手を中心に、相手ゴールに再三迫りますが得点ならず。

緊迫したPK戦では、土壇場で同点に追いついた多古中の勢いを止められず、2-4で無念の敗退を喫しました。



卓球部

7/16 (土) 男女個人の部シングルス
 17 (日) 男女個人の部ダブルス
 男女学校対抗団体の部



【男子団体予選】

予選Aリーグ

	東庄中	小見川	佐原中	順位
東庄中	—	○3-0	○3-1	1位
小見川	●0-3	—	○3-0	2位
佐原中	●1-3	●0-3	—	3位

【女子団体予選】

予選Aリーグ

	小見川	山田中	佐原中	順位
小見川	—	○3-2	○3-0	1位
山田中	●2-3	—	○3-0	2位
佐原中	●0-3	●0-3	—	3位

予選Bリーグ

	多古中	山田中	佐原五	順位
多古中	—	○3-2	○3-0	1位
山田中	●2-3	—	○3-0	2位
佐原五	●0-3	●0-3	—	3位

予選Bリーグ

	東庄中	新島中	佐原五	多古中	順位
東庄中	—	○3-0	○3-0	○3-1	1位
新島中	●0-3	—	○3-2	○3-2	2位
佐原五	●0-3	●2-3	—	●1-3	4位
多古中	●1-3	●2-3	○3-1	—	3位



【決勝】○東庄中 3—1 多古中



【決勝】○小見川 3—2 東庄中

【個人戦】

中野選手	1回戦○—Y選手 (山田中) 2回戦○—W選手 (小見川) 3回戦●—T選手 (東庄中) ベスト16
島崎選手	1回戦●—N選手 (東庄中)
土方選手	1回戦●—F選手 (東庄中)
塚本選手	1回戦●—T選手 (多古中)
石橋選手	1回戦●—A選手 (山田中)
石毛選手	1回戦○—N選手 (山田中) 2回戦●—H選手 (小見川)
武田選手	1回戦●—F選手 (山田中)
鴫崎選手	1回戦○—I選手 (東庄中) 2回戦●—O選手 (多古中)

女子団体戦は、敗れたもののリーグ2位になった新島中とフルセットの大熱戦を演じました。個人戦では、男子で中野選手が、女子では西尾選手が3回戦進出のベスト16入り！（特に西尾選手の3回戦の相手は個人戦優勝選手。見事な試合ぶりでした。）

西尾選手	1回戦○—H選手 (佐原中) 2回戦○—S選手 (多古中) 3回戦●—M選手 (小見川) ベスト16
鴫崎選手	1回戦●—T選手 (小見川)
佐藤選手	1回戦●—H選手 (佐原中)
向後選手	1回戦●—Y選手 (多古中)
青野選手	1回戦●—H選手 (多古中)

【ダブルス】

土方・中野ペア	2回戦●—O・Kペア (多古中)
鴫崎・島崎ペア	2回戦●—T・Hペア (東庄中)
石橋・塚本ペア	1回戦●—S・Iペア (多古中)
武田・石毛ペア	1回戦○—棄権 (東庄中) 2回戦●—O・Hペア (多古中)
青野・鴫崎ペア	1回戦●—S・Sペア (多古中)
西尾・向後ペア	1回戦●—S・Hペア (佐原中)
佐藤・細根ペア	1回戦●—I・Oペア (新島中)



野球部 7/16 (土)、17 (日)、21 (木)

<7/17 (日) 小見川くろべ公園球場>

香取郡市総体予選野球大会・第1回戦

佐原五中	〇〇〇〇	〇
香取中	3403	10

(佐原五) ●片野、鈴木一鈴木、片野

(香取中) ○△東、多田一藤原



いざ試合開始

<佐原五> ※△は左打ち、E=エラー、S=盗塁、WP=ワイルドピッチ

		1	2	3	4	打安点四振犠盗E
1	片野 (投捕)	中安 SX		遊ゴロ		21000001
2	梶原 (二)	三ゴロ			投ゴロ	20000000
3	鈴木 (捕投)	三振			一飛	20001001
4	舘 (三)		三ゴ悪送		三振	20001000
5	高橋 (左)		三振			10001000
6	小林 (中)		三振			10001000
7	藤本 (右)		三振			10001000
8	△柳生 (一)			投ゴロ		10000000
9	木内 (遊)			三振		10001000

投手・△東 → 多田 1006002



先発・片野投手 (上) とリリーフ・鈴木投手 (下) の力投ぶり

初回。本校はいきなり片野選手が初球をクリーンヒット。すかさず自慢の足を生かして盗塁をしかけますが、ここは捕手の強肩に封じられタッチアウト。

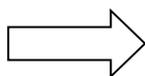
そのウラ。香取中は2死3塁から暴投で先制。さらに四球 (盗塁) と内野安打 (盗塁) で2、3塁とされ、次打者の二塁後方に落ちる本校にとっては不運なヒットで二者生還。0-3 とされます。

早い段階で1点でも返したい本校は2回。先頭の舘選手がサードゴロの悪送球で2進。無死2塁の絶好のチャンスを迎えますが、ここは相手左腕エース東投手の力のあるボールに三者連続三振に打ち取られ得点ならず。

チャンスを逃したそのウラ。香取中は先頭打者が左中間を破る3塁打。次打者は片野投手の力投で三振に打ち取ったものの、さすがは優勝候補筆頭チーム、上位打線に回ると四球・スクイズ・ヒット、さらに四球・3塁打とたたみかけられ4失点、0-7 と大量リードを許します。

3回ウラから鈴木投手が登板。先頭打者を四球で出塁させますが、見事な牽制球で刺すなど、落ち着いたプレートさばきを披露。力のあるボールとブレーキのきいた変化球で勢いづく香取中打線が無失点で退け、流れを変えます。しかし4回ウラ。真っ向勝負を挑みますが、連続四球に暴投やタイムリーヒットで3失点を喫し、無念のコールド負けとなりました。

【準決勝】 香取中1-0佐原中
多古中3-2山田中



【決勝】 多古中9-1 香取中

バレーボール部

<7/21(木) 県総体地区予選バレー大会・佐原中体育館>

【第1回戦】vs 神崎中

<第1セット>●12-25



五中	①②③④	⑤	⑥	⑦⑧⑨	⑩	⑪	⑫
神崎	①	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	⑬⑭	⑮⑯⑰⑱⑲	⑳㉑㉒㉓	㉔	㉕

序盤、高木選手の連続サービスエースなどで4-0と絶好のスタートを切りますが、さすがに新人戦準優勝の実績をもつ神崎中。中盤から強力なサーブを軸に、強打とフェイントをまじえた多彩な攻撃を展開して本校を翻弄します。後半に入ると相手エースの強打も決まり始め、圧倒されました。

<第2セット>●16-25

五中	①②③④⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩⑪	⑫	⑬	⑭⑮⑯
神崎	①②③	④⑤⑥	⑦⑧⑨⑩⑪	⑫⑬⑭⑮⑯⑰	⑱	⑲	⑳㉑㉒	㉓㉔	㉕

気合を入れなおして臨んだ第2セット。再び高木選手の好サーブが炸裂、さらにバックアタックや宮崎選手スパイクなどで6-3とリード。しかし、中盤から逆に相手の好サーブに崩され、スパイクミスなども出て逆転されます。終盤、相手のサーブミスなどでチャンスをつかみかけますが、何とかしなければという気持ちが強すぎたか、本校も力んでサーブミス。その後、部員たちの写真プリントと手書きの部員名を記した応援うちわを用意して大声援を送る保護者と下級生の応援に勇気をもらい、高橋主将を筆頭に選手たちが奮起。9-18の劣勢から相手の強打を身を挺して拾うなどチーム一丸となったバレーを展開、マッチポイントを握られた土壇場でも3連続得点の意地を見せます。しかし、反撃もここまで。最後は神崎中の強打に屈し、セットカウント0-2で敗れました。



女子バスケ部

7/21(木)、22(日)
小見川中学校体育館

【1回戦】

佐原五中●52

- ①12-23
- ②7-24
- ③15-20
- ④18-17

840東庄中

序盤はスピードとシュートの正確さで勝る東庄中に得点を重ねられます。本校は遠目からシュートを放つものの、リバウンドを奪われ、逆襲を受ける展開でじわじわと点差を開かる苦しい展開。

しかし、第2ピリオド終了間際、藤崎選手

の超ロングシュートが決まると、後半は吹っ切れたようにチームが躍動。浜島選手のスリーポイントや藤崎選手のカットイン、高柴選手のパスカットからのシュートなどで勢いに乗ります。そして最終ピリオド。開始早々から、鋭い読みで相手ボールを再三スチールした浜島選手・捻挫のため数日前までは満足に歩けなかった状態からの奇跡的な復活を果たした恵菜選手・藤崎選手が怒涛の6連続ゴール。坂本、伊藤選手を含めた3年生の意地が炸裂！強豪校・東庄中を猛追し、ベンチ、応援席が一体となって一気にヒートアップします。その後、一進一退の攻防を展開、最終的に敗れはしたものの、最終ピリオドは1点差で上回る意地を見せました。

